



暴力

沖縄女性をめぐる構造的な問題として

暴力の責任は言うまでもなく加害者にあります。

暴力を構造的な問題として考えることで支援者の資質を高め、顕在的・潜在的被害者となる可能性が高い女性たちをエンパワースする講座です。

無料講座

11月25日(土)
AM10:00~12:00

講師:宮城 晴美さん
(沖縄女性史家)

場所:沖縄県男女共同参画センター
「ているる」3F研修室1・2

対象:相談業務に携わる方・関心のある方

定員:45名(定員に達し次第締切)

QRコードからお申し込み



講師プロフィール

みやぎ はるみ

宮城 晴美さん (沖縄女性史家)

1949年、座間味村に生まれる。沖縄の月刊誌記者、編集者を経て、那覇市女性室職員となる。『なは・女のあしあと 那覇女性史(前近代・近代・戦後編)』を発行後、那覇市歴史資料室に異動し、『那覇市史』の編集に携わる。那覇市歴史博物館を定年退職後、県内四大学で非常勤講師(ジェンダーと政治、沖縄近現代女性史など)を10年余り、二大学で大学院講師を3年勤める。1994年より新沖縄県史編集委員会委員を務め、現在副会長。女性史部会長として『沖縄県史 女性史』(沖縄県教育委員会)を2016年に刊行。

著書『新版 母の遺したもの—沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実』(高文研 2008年)のほか、宮城晴美他著・『沖縄にみる性暴力と軍事主義』(富坂キリスト教センター編、御茶の水書房、2017年)など共著、論文多数。

